



コミュニティ・スクール  
長井市立致芳小学校だより  
令和4年3月15日 NO.21  
校是「和致芳」

## 「みんながなかよく高め合って、たくましく輝く致芳校をつくろう」 残り姿の美しさを残して、中学校へはばだけ！

最上級生の6年生、致芳小学校のリーダーとしてしっかりと頑張りました。新型コロナウイルス感染症の広がりによって今までやってきた行事でのやり方、委員会での役割が違ってきました。経験してきた通りにはできないことの連続でした。運動会では全員で声を出しての応援はできず、応援団役員の声だけで引っ張ります。各組では工夫して組員の動きだけで表現し、応援団は何人分もの声を体いっぱい出すその姿に胸をうたれました。委員会活動も感染予



防を呼びかけ、全校生での接触をできるだけ少なくしてオンラインでの集会を行うなど「できないではなく、どうやったらできるか」

「現状を嘆くのではなく、『笑顔の花を咲かせよう！』の児童会目標の達成に向けて何ができるのかを考え抜いて」活動してくれました。「最後の通学班会」「獅子踊りや委員会の引継ぎ式」と6年生にとっては、次年度のリーダーである5年生へバトンを引き継いでいきます。5年生は次年度のがんばりを約束していました。6年生は全部の気持ちを卒業に向か

って集中していきます。18日は晴れやかな顔で立派に卒業証書授与式を迎えます。感染拡大を予防するため、今年の卒業式にはご来賓の皆様の参加をご遠慮していただいております。お世話になった地域の皆様はその姿を見ていただけないのは本当に残念ですが、どうぞご理解いただきますようお願いいたします。



## 父母と教師の会 (PTA) 日本PTA 会長表彰

今年度、致芳小学校父母と教師の会が日本PTA 会長表彰の栄誉に輝きました。牛澤PTA 会長さんはじめ、保護者の皆様のご尽力のおかげと感謝申し上げます。致芳コミセンが文部科学大臣表彰、昨年は地域学校協働本部事業で文部科学大臣表彰、そして今年のPTA 全国表彰です。さらに明るい子どもの姿と声を地域に届け、「致芳愛」を広げていきたいと思ひます。



# 11年前のあの日を忘れない！ 2011.3.11

## 関心を持ち、伝えていくことも私たちの役割。

2011.3.11 あれから11年経ちました。東日本大震災が起こった今年と同じ金曜日でした。大地震・津波・原発事故が重なり、多くの方々が命を失った、忘れてはならない日です。今の小学生



は覚えていませんが、何が起こったのか関心を持ち、当時の小学生たちに起こったことを想像することはできます。今の自分だったらと考え、現在の状況を知る。「自分事として考える」これが一番大切だと思います。11年前の新聞が手元にあります。3月12日はたった8ページの新聞でした。停電の中で読んだことを覚えています。11日はオンライン朝会であの日起こったこと、生きてくても生きられなかった方々のこと、今も終わっていないこと、そして、これからも福島第一原発の廃炉作業はずっと続き、ふるさとに戻りたくても戻れない人たちがたくさんいることを話しました。今の私たちにできることは「関心をもって見つめること」そして平和の鐘の鳴る村の致芳小学校の子どもとして、世界の平和を願うことだと伝えました。ご家庭でも「いのち」を考える日にしてほしいと思いました。



### 【教職員の異動に伴う離任式を変更します】

春休み中に行っていた離任式(職員とのお別れの式)を3月17日の修了式の日に行います。これまで大切にしてきた「出会いと別れ」「お世話になった先生方への感謝の気持ち」については、しっかり意味づけし、大切に執り行っていきたいと思います。異動発表前ですので、特定の先生とのお別れする式ではなく、1年間一緒に過ごしてきた職員との区切りを確認する式として行いたいと考えております。さらに当日は学級ごとに1年間の成長を確認し、互いの頑張りを認め、励ます日にして、進級への希望を持たせていきたいと思っています。

・変更の理由について(春休み中に実施することに課題がありました)

- (1) ご家庭から協力いただいているものの、授業日ではなく、原則自由参加であったこと。
- (2) 休み中であるため、学童や祖父母宅から登校する児童も多く、通常の登校班編成が難しく、安全面で心配なこと。
- (3) ご家庭によっては、午後の短時間(約20分~30分程度)のためだけの登校は対応が大変であり、負担が大きいこと。

以上、ご理解の上、ご協力をお願いいたします。



致芳小学校のホームページ・ブログでも子ども達の様子をお知らせしています。カラーでご覧いただけます。こちらのQRコードからどうぞ。